

教科名	<b>技術・家庭科</b>
-----	---------------

学校番号（23）学校名（上石神井中学校）

○現状分析（日常の学習活動から見られる学習の定着状況）

1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心が高く、自ら学び取ろうとする姿勢が見られる。</li> <li>・作業の進捗が遅れるなど、基礎学力が定着の遅い生徒も見られる。</li> </ul>
2年	<p>興味・関心が高く、自ら学び取ろうとする姿勢が見られ、より発展的なことに取り組もうとする生徒がいる。基礎学力定着の差が大きい。</p>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に対して意欲的に取り組んでいるが、基本的な技能や知識が定着しない生徒がいる。</li> </ul>

○指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画	
1年	技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習時に個別指導の時間を多く取り、丁寧な指導をする。</li> <li>・実習作業をグループ活動とし、一人ではやりにくい作業をお互いに協力して行わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各作業のはじめに要点を板書して理解させる。</li> <li>・進捗が遅れがある生徒や、より発展的な内容を望む生徒に対して、放課後の時間に補充学習を行う。</li> </ul>	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁縫技能の基本の定着度に差があり、作業の進捗にばらつきが出てしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校で学んだ技能を確認し、提出物や技能テストにより確実に覚えさせる。</li> <li>・授業サポーターに授業に入ってもらい、各生徒の能力に応じて丁寧な個別指導をする。</li> </ul>	
2年	技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表面的な知識・理解で終わる生徒も少なくないので、製作等の実習を通して、科学的な知識や考え方を理解させることが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習作業だけでなく、その裏付けとなる科学的な知識を繰り返し伝えたり、大きく板書したりすることによってしっかりと理解させる。</li> <li>・生活に身近な題材を取り上げ、興味関心をもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習作業の要点については周囲の生徒と話し合わせて確認することにより学習内容の定着を図る。</li> <li>・実習に遅れがある生徒に対して、放課後の補充学習を行う。</li> </ul>
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁縫技能の基本の定着度に差があり、全体で発展した内容に取り組むことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本技能の確認を徹底し、作業の進行段階ごとに作品を確認し提出させる。</li> <li>・授業サポーターに授業に入ってもらい、能力に応じて丁寧な個別指導をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んでいる生徒には、より発展的な課題を用意し、作品をレベルアップさせ、区展、都展に出品し達成感をもたせる。</li> <li>・個々の進捗、能力に応じて放課後の補充学習を行う。</li> </ul>
3年	技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の社会におけるものづくりや、技術と環境問題の関わりについて興味関心をもたせることが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像資料やインターネット等の資料を活用し、現在のものづくりについて学習する。</li> <li>・製作見本を示しイメージを考えさせ、製作時に創意工夫が出来るように考えさせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自習用のワークシートを作成し、家庭での補充学習に役立てる。</li> <li>・技術が環境に及ぼす問題点などについて考えを深めさせる。</li> </ul>

			る。	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A家族・家庭と子どもの成長では、自分の身近に幼児がいないので、理解しにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園で幼児とのふれ合い体験をし、直接幼児と遊んだりして幼児理解を深める。</li> <li>・自分の考えを表現したり、発表したりする活動を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントやワークシートを活用し、補う。</li> <li>・幼児の使うおもちゃを製作させる。</li> <li>・幼児についてのDVDを鑑賞する。</li> </ul>